年間授業計画

高等学校 令和６度（１学年用） 教科　芸術　科目 美術Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 美術Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組 美術選択者

教科担当者： 五郎丸　隆子

使用教科書： （ 光村図書　美術１ ）

教科　芸術　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】多くの芸術表現の方法・可能性・歴史等について学び技術の向上と広く芸術を愛好する心情を育成する

【思考力、判断力、表現力等】芸術表現の可能性について考え、自らの表現に適した方法を判断し、手段を選択することができる

【学びに向かう力、人間性等】芸術作品から主体的に感じ取ったことや考えたことを基にして学習活動に積極的に取り組むことができる

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現の方法、多様性などについて幅広く理解するとともに、技術知識の向上を図り、効果的に表現するための基礎的な能力を身に付けるようにする。	自他の作品の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創作活動に励み、表現を工夫する。自分なりの表現について模索し、様々な表現方法の中から自分に合った方法を見出し表現を楽しむことができるようにする。	主体的に幅広い表現活動に励み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高める。周囲の生徒との活動の中で互いの表現の良いとことを享受し、高めあう活動を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション 鉛筆デッサン 【知識及び技能】デッサンの基本について学ばせ、作品作りに反映できるよう指導する 【思考力、判断力、表現力等】立体を描くことについて画材の使い分け等について自身で判断し表現を楽しむよう教える　【学びに向かう力、人間性等】周囲の生徒の制作を見て、お互いの作品のよいところを見つけ、技術を高めあう環境づくりに努める	・「美術」をどう捉えるか ・鉛筆等の使い方について ・立体の表現方法について ・構図の捉え方　・用具の使い方　(教材)鉛筆、練ゴム、デスケル、スケッチブック等	○			○	【知識及び技能】デッサンの基本について理解し作品作りに反映させることができる 【思考力、判断力、表現力等】立体を描くことについて画材の使い分け等について自身で判断し表現を楽しむことができる　【学びに向かう力、人間性等】周囲の生徒の制作を見て、お互いの作品よいところを見つけ、技術を高めあうことができる	○	○	○	16
	水彩画 色あわせ演習 【知識及び技能】アクリル絵の具の取り扱い方について学習させる 【思考力、判断力、表現力等】混色方法について教え、自分の意図する色を作り、表現することができるよう促す 【学びに向かう力、人間性等】自らの作りたい色について積極的・主体的に試行錯誤を繰り返すよう指導する	・色彩の基本 ・減法混色について ・アクリル絵の具に慣れる　(教材)アクリル絵の具セット、筆洗、スケッチブック等	○			○	【知識及び技能】アクリル絵の具の取り扱い方について理解し、正しく使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】混色方法について学び、自分の意図する色を作り、表現することができる　【学びに向かう力、人間性等】自らの作りたい色について積極的・主体的に試行錯誤を繰り返すことができる	○	○	○	8
	モダンテクニック演習 【知識及び技能】4つの表現技法についてについての説明と先輩の参考作品を提示し、その方法について正しく理解するよう指導する 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの技法の特徴をつかみ、自分の表現したいことに適した場面での使用ができるよう学ばせる 【学びに向かう力、人間性等】絵の具の可能性と抽象表現について自ら考え主体的に作品作りに取り組むよう指導する	・抽象表現とは何か ・絵の具による様々な技法への理解 (教材)アクリル絵の具セット、筆洗、スケッチブック等	○			○	【知識及び技能】4つの表現技法についてについての説明と先輩の参考作品の鑑賞を経て、その方法について正しく理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの技法の特徴をつかみ、自分の表現したいことに適した場面での使用ができる 【学びに向かう力、人間性等】絵の具の可能性と抽象表現について自ら考え主体的に作品作りに取り組むことができる	○	○	○	8
2学期	染色デザイン 型染め(ステンシル技法)によるバックデザイン 【知識及び技能】型染めの技法について教え、その方法について正しく理解し作品作りに取り組むよう指導する　【思考力、判断力、表現力等】デザインについて自己の表現についての模索と創意工夫をするよう促す 【学びに向かう力、人間性等】デザインの可能性と染色技法について自ら考え、コツをつかみ主体的に作品作りに取り組ませる	・デザインとは何か ・版画技法と染色技法 ・染料と顔料の違い ・生活の中のデザインについて ・型染め(ステンシル)技法について ・染色の作業工程について ・日本の伝統工芸についての理解 (教材)鉛筆、アクリル絵の具セット、スケッチブック、ケントボード、染色セット、エコバック等		○		○	【知識及び技能】型染めの技法について学び、その方法について正しく理解し作品作りに取り組むことができる　【思考力、判断力、表現力等】デザインについて自己の表現についての模索と創意工夫ができている 【学びに向かう力、人間性等】デザインの可能性と染色技法について自ら考え、コツをつかみ主体的に作品作りに取り組むことができる	○	○	○	18
3学期	皮革工芸 皮革で作る小銭入れ 【知識及び技能】・皮革の表面加工の技法について教え、その方法について正しく理解し作品作りに取り組ませる 【思考力、判断力、表現力等】デザインについて自己の表現についての模索と創意工夫を促す 【学びに向かう力、人間性等】主体的に感じ取ったことや考えたことを基にした制作活動となるよう指導する	・素材について ・皮革工芸の歴史 ・皮革の取り扱いについて ・皮革表面加工技術の習得 ・仕立ての方法と技術の習得　(教材)鉛筆、皮革工芸セット、小銭入れキット等		○		○	【知識及び技能】皮革の表面加工の技法について学び、その方法について正しく理解し作品作りに取り組むことができる 【思考力、判断力、表現力等】デザインについて自己の表現についての模索と創意工夫ができている　【学びに向かう力、人間性等】主体的に感じ取ったことや考えたことを基にした制作活動に取り組もうとしている	○	○	○	20
											合計
											70